

報告書集計システム

ReportConnectionII for クラウド
Report Total Systems

ご紹介資料

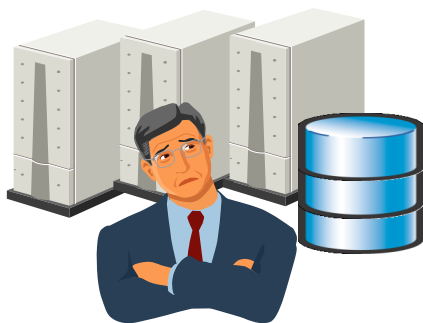
 株式会社 日立システムズ

Contents

1. システム導入時の課題
2. クラウド版とオンプレミス版の比較
3. システム構成図
4. システム稼動環境



システム導入のお悩みを解決します！



■ サーバーの導入・管理がわずらわしい

・導入までに数か月、その後も監視、バックアップ・・・

■ 資産を増やしたくない

・変化が早い時代だし災害も心配。資産はなるべく増やしたくない。

■ 初期コストを抑えて、月額費用方式で利用したい

・初期投資して導入したとしても、業務に合わなかったらどうしよう



ReportConnection II は
クラウドでもご利用いただけます！



2. クラウド版とオンプレミス版の比較

	ReportConnectionII for クラウド	ReportConnectionII (オンプレミス版)
初期コスト	初期投資不要。利用期間に応じて支払い。※1	サーバーやパッケージのライセンス費など初期投資が必要。
利用開始までの期間	申込から数日で利用開始が可能。	サーバーの調達～構築までの期間が必要
導入後の管理	バックアップや資源監視は日立システムズで実施 ※3	別途検討、実施する必要あり。
ネットワークセキュリティ	インターネット環境を利用するが、SSL通信により暗号化。	社内LAN等の閉じた環境下で利用。
障害対応	日立システムズの堅牢なデータセンタを利用。障害時は迅速に対応。	状況の連携や駆けつける時間含め、復旧までに時間がかかる可能性あり。
サーバーの拡張性	利用頻度に応じたサーバーの拡張は不可。※2	調達するサーバーのリソースに基づいた運用が可能。
システムの連携機能	一部利用不可(メール連携のみ可)	Report Connection II 製品の全連携機能が選択可。
システムのバージョンアップ	追加ライセンス費用無しでバージョンアップ可能。	バージョンアップには追加ライセンスの購入が必要。

※1 標準的なReport Connection II 利用料の場合。契約は年単位となります。 ※2 ストレージは5GB固定となります
 ※3 定期バックアップのため、ある時点でのデータ内容のバックアップとなります。業務と同期したデータ内容を保証するものではありません。

3. システム構成図

クラウド版

お客様環境

本部

- Internet Explorer
- Microsoft Excel
- 集計ツール / ActiveX



各拠点

- Internet Explorer / Edge
- Microsoft Excel

F/Wを介して
インターネットで利用

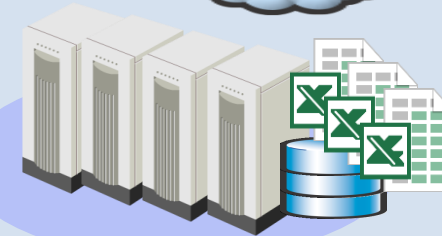


インターネット

SSL通信

日立システムズ 仮想サーバ基盤

ReportConnectionII for クラウド



Report Connection II サーバー
メールサーバー等

- 収集ファイル
- 報告書データ
- マスタデータ
- 操作ログ

オンプレミス版

お客様環境

本部

- Internet Explorer
- Microsoft Excel
- 集計ツール / ActiveX



各拠点

- Internet Explorer / Edge
- Microsoft Excel

お客様LAN内
のみで利用



イントラネット

サーバー室

ReportConnectionII



Report Connection II サーバー
メールサーバー等

- 収集ファイル
- 報告書データ
- マスタデータ
- 操作ログ

4. システム稼動環境 ①

クライアント	
対応OS	<p>Microsoft Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate Edition (32bit版/64bit版) ※1 Microsoft Windows 8.1 Pro、Enterprise Edition (32bit版/64bit版) Microsoft Windows 10 Pro、Enterprise Edition (32bit版/64bit版)</p> <p>※1 本部機能を使用する場合は、ユーザーアカウント制御を通知しないに設定する必要があります。 ※ Global Edition製品では、日本語OS、英語OSに対応します。</p>
対応Webブラウザ	<p>Microsoft Windows 7 の場合 Internet Explorer 9.0、10.0、11.0</p> <p>Microsoft Windows 8.1 の場合 ※1 Internet Explorer 11.0</p> <p>Microsoft Windows 10 の場合 ※2 Internet Explorer 11.0 Microsoft Edge (支店機能のみ対応) ※3</p> <p>※ Internet Explorerで本部機能を使用する場合は、セキュリティレベルを「中以下」に設定する必要があります。 ※ いずれのOSにおいてもInternet Explorerは32bit版のみサポートします。 ※1 デスクトップ環境からの利用をサポートします(Metro環境はサポート対象外)。 ※2 仮想デスクトップ環境、タブレットモードはサポート対象外となります。 ※3 Microsoft Edgeは支店機能(提出のみ実施するユーザー向け)のみ対応します。</p>
メモリ容量	<p>32bit版OSの場合 1GB以上 (2GB以上推奨) ※1 64bit版OSの場合 2GB以上</p> <p>※1 Microsoft Excel 2016を使用する場合は2GB以上必須となります。</p>

4. システム稼働環境 ②

ディスク容量	<p>利用中のOSやMicrosoft Excelの稼働要件を満たしているものとします。</p> <p>また、本部機能を使用する場合は以下の空き容量が別途必要です。</p> <p>Microsoft Windows 7 (32bit版)の場合 1.2GB ※</p> <p>Microsoft Windows 7 (64bit版)の場合 2.1GB ※</p> <p>Microsoft Windows 8.1, 10の場合 600MB ※</p> <p>※ 2GB(32bitOS)、4GB(64bitOS)以上の空き容量を推奨します。</p>
Microsoft Excel (集計ツール利用時は必須)	<p>Microsoft Excel 2007</p> <p>Microsoft Excel 2010</p> <p>Microsoft Excel 2013</p> <p>Microsoft Excel 2016</p> <p>※対応ファイル形式は「xls、xlsx、xlsm」となります。</p> <p>※いずれのOSにおいても32bit版のExcelのみサポートします。</p> <p>※Global Edition製品では、日本語版と英語版のExcelに対応します。</p>

END

報告書集計システム
ReportConnectionII for クラウド
Report Total Systems

🌀 株式会社 日立システムズ



Human * IT